

事業No. 1-9

申請教員 上田悠久（人文社会科学部法律経済学科法学メジャー）

件名 公共哲学ゼミナール ゼミ合宿

実施日 2026年2月20日(金)・2月21日(土)

場所 自然の家くすの木（千葉県南房総市和田町）

参加者 3年生2名、4年生1名、引率教員（上田）

2021年度に開設された本ゼミでは、コロナ禍で断念した初年度を除き、毎年ゼミ行事を行っている。2024年度から冬の開催となり、本年度は千葉県南房総市和田町にある学校跡地に建てられた宿泊施設「自然の家くすの木」を利用した。今回は体調不良などで直前になっての欠席が相次ぎ、最終的にはゼミ生のうち3名の参加に留まった。

参加者は鴨川駅に集合し、買い出しを終えた後、鴨川の棚田などを通りながらタクシーで宿舎に向かった。到着後、まず宿舎の近くにあるダムを目指して林道を1時間ほど散策し、帰りには偶然にも牛舎の横を通り、酪農の里の雰囲気を感じ取った。とはいえ酪農も廃業が相次ぎ、路線バスも廃止が決まるなど、過疎化が進行する地域ではあるが、ゆったりとした時間が流れていた。

続いて「法律とモラル」を題材にワークショップを行った。参加者は「モラル」とはどのようなものか、具体例などを用紙に書き出し、その後各自の見解をもとにディスカッションを行った。モラルとマナーの境界線が曖昧であり、法律とは異なり拘束力にも差があるなど、私たちの日常を取り巻く規範について、参加者は理解を深めることが出来た。

ワークショップ終了後は、バーベキューを行った。火起こしに難儀したため、食事にありついたのは夜9時を回っていたが、良い勉強になった。





翌日はタクシーで鴨川シーワールドに向かった。イルカやシャチの迫力あるショーを楽しんだ後、鴨川駅から帰路についた。

今回は参加者が非常に減ってしまったものの、2年ぶりに宿泊ありの合宿を開催することができた。来年度もゼミ生次第であるが、行事の継続を期待したい。

最後に、ゼミ生の電車代を補助して下さった後援会に厚く御礼申し上げる。

2026年3月10日 上田悠久